

## 3 近郊ウォーキング



## 稚児墓山

生4-北 廣川 幾雄

藍那古道、丹生山、帝釈山と縦走コースを歩いて来たら次は稚児墓山である。前号で述べた通り1579年の秀吉の丹生山焼き打ちの際、犠牲になった侍童、稚児を村人たちが憐れんで葬ったことから稚児墓山の名が付けたという伝説がある。伝説というには新しく、また具体的な話であるから多分真実だろう。

丹生山系で一番高く596mあるが、スタート地点が高いので、正味300mぐらいの軽登山である。しかし、ガレ場が多く上り下りとも傾斜がきついので甘く見てはいけない。足元はしっかり登山靴で固め、ステッキも必携である。ガイドブックでは帝釈山を下りて国道428号を横断して稚児墓山に上るように書いてあるが、私は逆の方から行くことをすすめたい。

箕谷駅前から市バス111系統衝原行きに乗って大滝口で下りる。僅か5分の乗車であるが、車が多く歩くには適していない道だから、面倒でもバスに乗るべきだ。下りると右側に柏尾台という新しい住宅地があるのでその中へ入って行こう。一区画が150坪ぐらいある大きな敷地に洋風の住宅がぼつぼつと建築中である。大きなガレージにベンツとB

MWとが並んでいるような家を横目で見ながら歩くこと30分で志久入口という道標に達する。

ここからが山道だが、すぐガレ場になる。しっかり足元を見つめて歩こう。30分ほどで肘曲りという地点に到着する。これを右に曲がれば志久峠を経て淡河方面へ行く、真っ直ぐ行けば稚児墓山だが、あと1キロだからここでゆっくり休んで行こう。肘曲りから相変わらずの石ころ道を30分登ればもう山頂である。小高い石積の中央に「稚児墓山伝説遺跡」という標柱が立っている。

帰路は縦走路の道標に従いながら約1.5kmかなりけわしい坂道を下り双坂池に出る。ここから428号をダラダラと約1時間歩かなければならない。私が逆コースを選んだ理由はこれで、登山口に至るまで1時間も車道を歩くのは我慢できない。帰り道なら何とか我慢できる。舗装道路を歩くのに飽きたころグリーンスポーツホテルのすぐ下に、Nというレストランがある。マーちゃんがお気に入りの店である。ここで一休みしてコーヒーを一杯、谷寺口のバス停まではあと5分である。



## 7期生から“わ”に寄付

シルバーカレッジの3年生は毎年、卒業時にカレッジに記念品を贈るのが慣わしになっています。ことし3月に卒業した7期生はパソコンの画面をスクリーンに投射するプロジェクター（PRJ）を選びました。カレッジのPRJはカレッジホールに据置型が備わっているほか、可搬型が1台ありましたが、パソコンの講習や学習の発表など最近では引っ張りだこだったようです。7期の方はG学習でPRJの不足を痛感されたようで、卒業記念品としてこれを選んだそうです。実際に購入ではIT機器の例に漏れず、相当価格が下がっていて、集めた資金が余ったそうです。余ったうちの一部として28,920円がグループ“わ”に寄付されました。

志を多として有益に使わせて頂きます。7期生の皆さん、どうもありがとうございました。紙上を借りてお礼を申し上げます。

(事務局)

## 編集後記

先号を出したときはイラク戦もSARSもありませんでした。3ヶ月で世の中ずいぶん変わるものですが、日本経済の閉塞状況は何年経ってもさっぱり好転する兆しが見えません。不況のあおりで“わ”も会費徴収に移ることになり、退会した方もいましたが、それを上回る7期生の入会で大勢は900人近い会員を維持しています。その総意が私たちの活動の源なのでしょうね。(サン)

“わ”のホームページ上でも情報ぎやらりーを閲覧できるようにした関係で、編集をカラーベースで行っています。編集の段階ではカラフルでなんとなく楽しくなるようなページができています。一度チャンスがあればフルカラーの情報誌が発行できたらいいのになあと考えるときがあるのですが…。夢かなあ(TS)